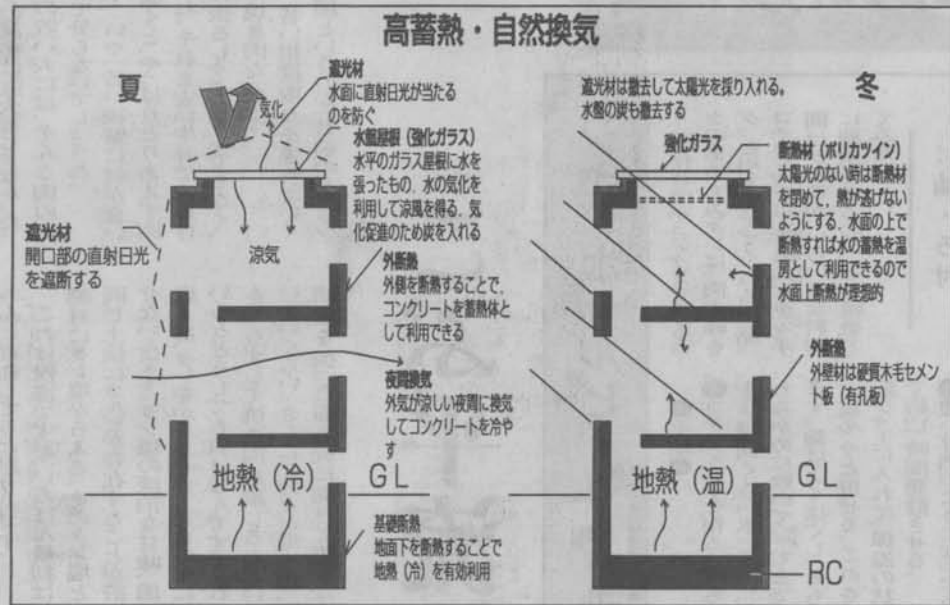


この紙面の情報は、産経Web (http://www.sankei.co.jp/) でもご覧になれます。



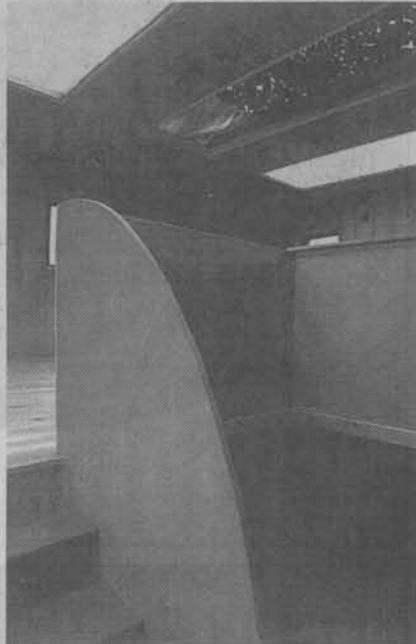
# 「夢のゼロ エネルギーめざす」

## 建築家・海野 健三さんが設計



海野 健三さん

「仕上げは、まだ？」  
東急東横線元住吉駅から徒歩五分ほどの、敷地約一五坪、延べ床面積約三八坪の鉄筋コンクリート造り二階建て地下室付きの住宅がそれ。  
家の形は単純な立方体だ



2階天井部を階段踊り場から見上げたところ、3カ所に水盤が設けられている。黒く見える部分に炭を入れてある

このほど川崎市中原区で、ある住宅の公開見学会が開かれた。その特徴は、夢のゼロエネルギー（冷暖房）を旨としたユニークな鉄筋コンクリートの地下室付き住まい。名付けて「URC工法・U0Eシステムの家」。手作り感覚のローコスト・簡単外断熱工法で、一日だけのオープンハウスだった。見学者は百人を超えた。

天井部の水盤  
下の断熱材を開けたところ



断熱材（ポリカッティン）を閉じる。この水盤システムは「ゼロ（0）エネルギー（E）の海野版（U）」から「U0Eシステム」と名付けている。

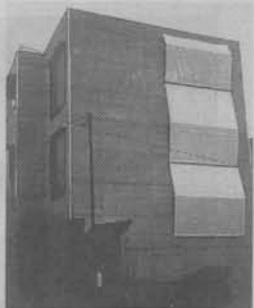
# 高蓄熱・自然換気の実験住宅

内部はコンクリートの打ち放しだが、表面仕上げは平滑ではなく、曲面の連続構成で、しかも型枠代わりの工用ネットの編み目模様がそのまま浮きだしている。  
見学者の第一声は、「いつ仕上がるのですか」。確かに見た目には、仕上げはこれから一のように見え

熱・自然換気住宅」

「震災に遭った神戸などで、手作りの住まいとして認知されれば。コストも安く自然の力を利用した住まいとして、理解してもらいたい。最近話題の高気密・高断熱は、高気密が故に強制換気も必要。もっと自然の力を利用したものがない」と語っている。

硬質木毛セメント板（有孔板）を外断熱材として仕上げた外観。開口部には工用ネットを遮光用に張ってある



海野さんによると「この住まいは、コンクリートの新工法を開発したもので、外断熱方式を取りながら、ローコスト（坪五十万円程度）が可能。しかも冷たく硬い印象のコンクリートの持つ素材感を、まったく違った表情に仕上げること

問い合わせは海建築家工房（東京都江東区扇橋、03-3648-8486）。